

確かな学力をもつ、心身ともに健康な生徒の育成

夏休みも終わり、いよいよチャレンジの9月、10月!

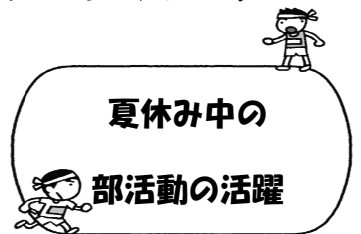
数々の感動のドラマが繰り広げられたリオオリンピックの終わりとともに、長い夏休みも終わり、いよいよ学校が始まりました。

この夏休み、大きな事故もなく過ごせたのは、保護者・地域の方々のおかげと感謝しております。

さて、9月は体育祭、10月は文化祭と、生徒たちにとっては、たいへん大きな行事を控えています。どちらの行事も学級、学年、学校の団結力が問われます。学校は学力を付けることはもちろんですが、集団が一致団結し、一つのことをやり遂げる中で達成感や充実感を味わうことを大切にしています。集団の成長が個人の成長につながればと考えています。ぜひ、生徒たちの頑張りを見に来てください。



8月7日、愛知県武道館において、県大会準優勝の奥山由那さんが東海大会に出場しました。試合は惜しくも、岐阜の選手に負けてしまいましたが、堂々とした戦いぶりでした。



8月10日、小牧市スポーツ公園総合体育館において、県大会で個人戦を勝ち抜いた大仲琴心さんが東海大会に出場しました。試合は惜しくも、岐阜の選手に負けてしまいましたが、一時は追いつくなど、レベルの高い戦いでした。



8月9日、パロマ瑞穂スタジアムで、西田真梨さんは2年100mに、早川恭平さんは800mに出場しました。西田さんは、予選通過はなりませんでしたが、自己ベストを更新しました。早川さんは、レベルの高いレースで、奮闘しましたが、予選通過とはなりません。この経験を県大会に生かしてほしいと思います。



8月27日、2年の中島大雅さんが、県の予選を勝ち抜いて、富山県で開催された、中部日本卓球選手権大会に出場しました。試合は新潟県の選手と対戦し、接戦でしたが、1-3で惜しくも負けてしまいました。

8月8日全校登校日の平和学習

Let's act for "The Peaceful World" together too!!

5月27日のオバマ大統領の広島でのスピーチをみんなで視聴しました。大統領は「私たちは、核兵器のない世界を追求する勇気をもたなければならない。」と述べています。そして最後に大西先生が、「広島の中高生が『平和』のために行動を起こしている。豊浜中も一緒に『核兵器のない平和な世界の実現』のために立ち上がろう!」と英語でスピーチしました。

被爆樹木 2 世植樹

8月15日の終戦の日、伊勢フットボールヴィレッジで、鈴木健一市長や広島平和記念式典に参加した豊浜中3年植村美結さん、古野大和さんと北浜中の生徒の代表4名が被爆樹木二世の苗木を植樹しました。植樹したのは、広島市のアオギリと長崎市のクスノキの苗木で、親木は両市とも原爆の熱線と爆風で焼けましたが、芽を吹き返し、市民に生きる希望を与えたそうです。苗木は、五月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に合わせ、伊勢市で開かれた「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の際、両市から伊勢市へ贈られました。植村美結さんが代表して、「尊い命が奪われたことを決して忘れてはいけません。平和について考え続け、行動していきます」と力強く「平和の誓い」を読み上げ、鈴木市長らと苗木を植樹しました。



北浜中学校の代表生徒とともに

伊勢市長と藤原教育部長とともに植樹をしました。



広島平和記念式典 参加報告会

8月20日、ハートプラザみそので平和記念式典参加報告会が行われました。3年植村美結さん、古野大和さんら広島平和記念式典に参加した市内の中学生が集まり、記念式典の報告を行いました。最後に、藤本副市長が「平和をあえて口に出さなくても良いような世の中になるように。」と報告会を締めくくっていただきました。

UL Speech Contest & English Speech Contest 【楸UL Japan】 【皇学館中学校】

8月6日、20日には、それぞれテーマを決めて英語でスピーチし、英語の正確な発音と表現力を競うスピーチコンテストが行われました。惜しくも賞には一步届きませんでしたが、5名とも堂々とスピーチし自分の考えを発表することができました。以下はその内容です。

<p>早川恭平さん</p> <p>Go for Gold Without Hesitation</p> <p>大好きなバスケットボール選手へのけがにショックを受け、「プロや学生選手のけがを早く治す装置」があれば良いと考えた。それがあれば、応援してくれる人のためにも、皆が安心して全力を出し切ることができるのではと思う。</p>	<p>奥野楓子さん</p> <p>My Everyday Heroes</p> <p>地域の安全を守るために毎日街角に立っている安全ボランティアの人たちは、ヒーローのようにマスクをつけたり、超能力を使うことはできないが、ずっと地域の安全を守ってくれているので、安心して暮らすことができる。将来自分もこのような活動をしたい。</p>	<p>長谷川千瑠さん</p> <p>私の宝物</p> <p>6年生から始めた卓球で、県大会に出場することができた。先生やコーチや家族、友達がいつも見守ってくれているおかげだと思う。特に家族にはなかなか気持ちを表すことができないが、感謝と尊敬の気持ちを伝えたい。私も家族や友だちから尊敬されるような人になりたい。</p>	<p>右京柚月さん</p> <p>伊勢志摩</p> <p>伊勢神宮は私の誇りだ。小さいころから伊勢神宮にまつわる神話を聞くのが好きだった。伊勢神宮を訪れると自分の気持ちを落ち着かせることができる。樹齢100年以上の大木があるが、その木に触れるととても温かくやさしい気持ちになる。</p>	<p>北村真優さん</p> <p>私の宝物</p> <p>「ありがとう」の反対は「当たり前」である。「有ることが難しい」と漢字で書くが、それは「奇跡」なのである。今まで危険なことにあわないように「奇跡の連続のため」に関わってくれた両親のおかげだと思う。私の宝物は「私自身」で、私を育ててくれた両親にも感謝している。</p>
--	--	--	--	--

《 9月の行事予定 》

- 1日(木) 夏休み明けテスト
- 2日(金) 第5回PTA本部役員会・役員会
- 3日(土) 科学創作展(いせトピア)、県JR陸上
- 4日(日) 科学創作展(いせトピア)、県JR陸上
- 10日(土) 体育祭
- 12日(月) 振替休業
- 14日(水)～16日(金) 前期期末テスト
- 16日(金) 土路浜清掃
- 23日(金)～24日(土) 伊勢度会陸上大会

8月24日、二見公民館にて「子ども未来会議」が開催されました。市内各中学校の代表が集まり、グループに分かれ、「国際化に対応するやさしいまち伊勢市」というテーマで、中学生からの視点でこれからの伊勢市をどのようにしていくのが良いのかを話し合い、発表しました。話し合いの前に、5月の「こどもふるさとサミット」に出席した奥野楓子さん、北村真優さん、小西陽花梨さんが再び、素晴らしい英語で伊勢志摩の良いところをスピーチしました。他にも生徒会から、奥山由那さん、南端友理了さんが話し合いに参加しました。